

# 令和3年度 年間事業計画

## 千防保育所

令和3年度は、コロナ禍で先行き不透明な中、事業計画を立てるにあたって少々不安を感じるが、明るい希望と見通しを持って、子どもたちのため一番いい環境づくりを心掛けていきたい。ワクチン接種等の状況によっては変更も予測しておかなければならない。

令和3年度より3歳以上児の完全給食の開始に伴い、食育の充実にも繋げたい。

令和3年度も安全面に十分注意し、特に感染症から子どもたちを守ることに努め、適切な事業を展開していけるよう以下の事業について取り組む。

### 【令和3年度の重点的取り組み事項】

#### 1. 保育内容の向上（保育士の資質向上）

##### (1) 園内研修の取り組み

- ①リスクマネジメント研修を継続する。
- ②自己評価ガイドラインが出されたことを受け、再度、ガイドラインに沿った自己評価を行い、見直しを進める。
- ③子どもを中心とした保育の実践を考える（保育所保育指針の基本に基づく保育の質の向上に向けた実践、自己評価後の保育の確認）。

##### (2) 心と体の調和の強化

- ①「心の講話」の継続・・・毎月一回施設長による講話（3歳以上児）
- ②食育教室の実施・・・毎月一回調理員による講話（3歳以上児）  
親子クッキングの実施  
保護者に向けた食育の充実（発信の工夫）
- ③体力の向上を図る・・・保健計画に沿った実践の充実  
朝の体操・体操教室・戸外遊び  
親子マラソン大会等の実施

##### (3) 当法人内6施設における法人内研修の取り組み

- ・リモート研修の取り組み（コロナ禍での感染リスクを避けるため）
  - ①回数を増やすことで内容の充実を図る。
  - ②保育指針を基に、新人保育士の育成を図る。
  - ③保育士の心得（基本）等を園全体に広げていく。

#### 2. 円滑な園の運営と充実を図る

##### (1) 地域交流

地域の年長者との交流や地元の中高生と体験学習を通して交流する。

##### (2) 未就園児交流

未就園児とその保護者を対象に在園児との遊びを通して関わりを楽しむ「なかよしひろば」に取り組む。

##### (3) エコクリーン活動

3歳以上児が地域清掃を行ったり、リサイクル活動へ参加したりする。

##### (4) 保小の連携

- ①年長児を対象に近隣小学校と交流し、連携を図る。
- ②校区内のナオミ愛児園、西戸畑保育所と3園で、交流の年間計画を作成し、小学校教師を交えた職員同士の話し合いを持つ。

##### (5) 近隣保育所との交流

沢見あやめのもり保育所と年長児同士で年3回の交流を持ち、入学前の連携を図る。

##### (6) 安全点検

園内の玩具や建物等への重点的な衛生・安全の点検を行う。

(7) シルバー人材センターの活用

廊下やトイレの掃除及び園庭の草取りを委託し、職員の負担軽減を図る。

3. エコ活動の取り組み

プルタブは消防署に、ペットボトルキャップはスーパーへ持参し、段ボールは地域の廃品回収業者による回収を継続していく。

4. 施設整備及び管理

(1) 空調機について、機械の老朽化が進み不備が生じてきており、その都度点検、部品交換等を実施している。現在は順調に稼働しているが予断できない状況である。指定管理施設であるため、空調機のリニューアルを市と協議し進めていきたい。

【 平均児童数／4月入所予定児童数 】

定員：120名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	12名	22名	23名	22名	22名	23名	124名
4月入所予定児童数	7名	23名	23名	25名	21名	21名	120名

【 一時保育利用状況 見込数 】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
12件	24,000円	0件	0円	12件	24,000円

※ 通常保育の集団構成と異なることから、一人一人の子ども達の心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。保育所に来た日が、子どもにとって気持ちよく過ごせ、心地よい一日となるように心がける。

《職員配置》 必要に応じて日々雇用職員を雇用する。

【 延長保育利用状況 見込数 】

利用登録人数（年間）	120名	平均実利用者数	5名
------------	------	---------	----

※ 異年齢児の関わりを大切にした遊びを中心に、一人一人が安定して過ごせるようなゆったりとした雰囲気の中で保育を行う。

《職員配置》 正規保育士 1名 臨時保育士 1名（ローテーション・時間外にて対応）

## 1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人一人の特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

## 2. 保育方針

- ・ 子ども一人一人を大切にし、心身ともに健全な育ちを支え、思いやりのある意欲的な子どもを育てる。
- ・ 様々な体験を通して、興味・関心を広げ、豊かな感性と創造性を育てる。

## 3. 保育目標

- ・ 明るく元気に、ともだちと仲良く遊べる子どもに
- ・ 人を大切に思いやる、優しい子どもに
- ・ 感性豊かな創造性のある子どもに

## ○ 保育内容

保育所保育指針を基に、基本となる保育課程に沿って、指導計画（年間・月間・週間案）を立案し、子どもたちが安定した生活と充実した活動が出来るように、より良い環境の中で保育をすすめていく。

また、様々な問題については、職員会議及び園内研修等で協議し、全職員共通理解のもと、子どもたちの豊かな育ちに対応できるようにしていく。

## ○ 行事

年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊びの場合、事故防止対策をあらかじめ十分に検討する。
- ・ 遠足は安全面、体力面を考慮して目的地を選択する。内1回は親子参加型にし、親と子のふれあいの機会をもつ。
- ・ 生活発表会や運動会は、個性を考慮しながら一人一人を大切に参加させる。

## ○ 安全対策

- ・ 火災を想定した避難・通報・消火訓練を毎月1回行う。  
うち年2回は消防署立合いの総合訓練を行う。
- ・ 地震を想定した避難訓練、不審者侵入を想定した訓練を年2回行う。
- ・ 交通安全指導及び設置遊具の安全指導を行い、合わせて安全点検を随時行う。
- ・ 保育所の危機管理に留意し、全ての保育状況における安全確認の徹底を図る。
- ・ 送迎時の事故未然防止について、保護者の理解と安全管理の周知の徹底を図る。
- ・ 保育所内での与薬については、処方された薬のみとし、連絡票記入の指導を行い安全管理のための周知と徹底を図る。
- ・ O-157及び食中毒等に関する衛生管理の徹底を図る。
- ・ 感染症については、疾病の流行状況を把握し、衛生管理の確認・周知の徹底を図る。

○ 地域との交流

- ・ 地域の年長者と季節的な行事を通して世代間の交流を行う。
- ・ 地域の在宅乳幼児と一緒に遊びを通して在園児との交流をもつ。
- ・ 園内行事を通して卒園児と在園児との交流を深める。
- ・ 小・中・高等学校の生徒を対象にした、保育体験学習の受入れを行う。
- ・ 園児と小学校児童との交流体験や保育士及び小学校教師との相互の連携を図る。
- ・ 近隣保育所と園児同士の交流体験や、保育士との情報交換等を図り交流をもつ。

○ 保護者支援

- ・ 入所する子どもの保護者支援を行う。
- ・ 地域の子育て家庭への子育て支援を行う。電話相談も可。
- ・ 地域の様々な育児講演会や子育てイベント等の情報を紹介する。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

(保育時間を超える時間は、延長時間として対応)

○ 保育担当

担当保育士を定め、施設長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

○ 職員研修

- ・ 全国、県、市、区関係及び各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い、相互研修を深める。
- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において問題点を検討しあい、共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

4. 保育担当者 (別紙2の通り)

5. 保育設備

(1) 敷地 北九州市戸畑区千防1丁目1-15 1,870.04 m<sup>2</sup>

(2) 建物 鉄筋コンクリート造(3階建の2階3階部分) 1,288.05 m<sup>2</sup>

6. 資金計画

通常経費は、  
・委託費収入  
・受託事業収入  
・受入研修費収入  
・利用者等利用料収入  
・その他の事業収入  
・利用者等外給食費収入  
・補助金事業収入  
・受取利息配当金収入  
・雑収入

等によるものとする。

【 令和3年度 主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所 ・ 会 場
4 月	令和3年度 進級・入所式 (園児のみ) 「令和3年度のとりくみについて」説明会→中止 所内固定遊具安全使用指導 交通安全指導	全 児 保 護 者 3歳以上児 3歳以上児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 園 庭 保 育 所 内
5 月	園児健康診断 1回目 交通安全教室 職員健康診断 プラネタリウム見学 親子ふれあい遠足 宿泊保育 (日帰り保育) シルエット劇 鑑賞	全 児 3歳以上児・交通安全指導 全 職 員 年 長 児 全児・保護者 年 長 児 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 児 童 文 化 科 学 館 グ リ ー ン パ ー ク お ひ さ ま の 家 ウ ェ ル と ば た
6 月	保育まつり (戸畑菖蒲祭) 戸畑祇園太鼓 練習開始 保育参観及び育児講演会 クラス懇談会 (未満児) 小学校との交流 歯科検診	年 長 児 年 長 児 全児・保護者 未満児の保護者 年 長 児 4・5歳児	夜 宮 公 園 保 育 所 内 保 育 所 内 各 ク ラ ス 保 育 所 内 戸 畑 中 央 小 学 校 保 育 所 内
7 月	プール開き 個人懇談 (年長児のみ) 七夕まつり 戸畑祇園提灯みこしパレード ふれあいの丘 交流イベント (夕涼み会)	全 児 年長児の保護者 全 児 3歳以上児 全児・保護者・地域住民・卒園児・未就園児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 周 辺 ・ 地 域 保 育 所 内
8 月	プール納め	全 児	保 育 所 内
10月	大運動会 (卒園児・地域交流) 園児健康診断 2回目 車椅子バスケットボール観戦 総合訓練 (避難・消火訓練)	全児・保護者・地域住民・卒園児 全 児 年 長 児 全児・消防署	保 育 所 内 保 育 所 内 総 合 体 育 館 保 育 所 内
11月	勤労感謝の訪問 小学校との交流 学校開放授業参加	3歳以上児 年 長 児 年 長 児	消 防 署 ・ 警 察 署 ・ 嘱 託 医 戸 畑 中 央 小 学 校 校 区 小 学 校

実施月	行 事	参 加 者	場 所 ・ 会 場
12月	生活発表会	全児・保護者	保 育 所 内
	ミニ発表会	全児・地域年長者	保 育 所 内
	もちつき大会	全 児	保 育 所 内
	クリスマス会	全児・未就園児	保 育 所 内
	年末清掃・エコクリーン活動	3歳以上児	保 育 所 周 辺 ・ 地 域
1月	縦割り保育週間 → 郵便ごっこ	3歳以上児	保 育 所 内
	々 → お正月遊び	3歳以上児	保 育 所 内
	保育参加	全 児	保 育 所 内
	食育教室（親子クッキング）	年長児・保護者	保 育 所 内
2月	節分 豆まき大会	全 児	保 育 所 内
	作品展示 → おみせやさんごっこ	全児・保護者・未就園児	保 育 所 内
	親子ふれあいマラソン大会	3歳以上児・保護者	よ い と さ ひ ろ ば
	社会見学	年 長 児	いのちのたび博物館・環境ミュージアム
	クラス懇談会（きく組・ちゅうりっぷ組）	保 護 者	保 育 所 内
	個人懇談 開始	保 護 者	保 育 所 内 各 ク ラ ス
3月	ひなまつり集会	全 児	保 育 所 内
	就学前 交通安全教室	年 長 児	交 通 公 園
	お別れ遠足	3歳以上児	到 津 の 森 公 園
	々	3歳未満児	夜 宮 公 園
	お別れ会食（バイキング）	全 児	保 育 所 内
	お別れ式	全 児	保 育 所 内
	卒園式	年中児・年長児・保護者	保 育 所 内

### 1. 月例行事

- ・誕生会 ・消火・避難訓練・エコクリーン活動 ・身体測定 ・定例職員会議
- ・体操教室（年中・年長児） ・給食関係職員O-157検査
- ・心の講話 ・食育教室 ・クラスリーダー会議
- ・毎月始めに園だより、献立表、給食だより発行。クラスだよりは随時発行。

### 2. その他

- ・なかよしひろば（未就園児子育て支援）5月～2月まで年14回実施。
- ・お泊り保育（年長児） ・ 所内消毒
- ・消防設備機器点検 ・ 設置遊具等の安全点検
- ・菜園活動 ・ 一日保育士体験
- ・小・中・高生体験学習受入 ・ 小学校開放授業参加
- ・年長者ふれあい交流 ・ 近隣保育所との交流（6月・10月・1月）
- ・事業協会 施設長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。

3. 職員研修については、保育者としての資質向上の為一人でも多く各種研修会に参加出来るようにする。

4. 保小連絡会に積極的に参加し、連携をとる。

※ 令和3年度進級・入所式及び「令和3年度のとりくみについて」説明会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止し、入所面接及び書面にて説明を行う。

※ 新型コロナウイルス感染状況によっては、延期または中止となることもある。